

平成22年度の財務4表（普通会計）を公表します

これまでの公会計制度は、その年にどのような収入があり、それをどのように使ったかといった現金の動きがわかりやすい反面、市が整備してきた資産などの情報や、行政サービス提供のために発生したコスト情報の不足といった弱点がありました。

そこで、市では、それらの弱点を補うため、総務省が公表した「新地方公会計制度実務研究会報告書」に基づき、総務省方式改訂モデルによる新しい財務書類を作成しています。

問 伊奈庁舎財政課 ☎58-2111（内線1232）

貸借対照表（バランスシート）とは？

市が住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・純資産）でまかなってきたかを一目で分かるようにしたものです。左右がバランスしているため、バランスシートとも呼ばれます。

資金収支計算書とは？

歳計現金（＝資金）の出入りの情報を、性質の異なる3つの収支（経常的、公共資産整備、投資・財務的）に分けて示したものです。

行政コスト計算書とは？

1年間の行政活動のうち、福祉活動やごみの収集などの資産形成に結びつかない行政サービスに係る経費と、その行政サービスの直接対価として得られた財源を対比させたものです。

純資産変動計算書とは？

貸借対照表の純資産の部に計上されている各数値が、1年間でどのように変動したかを示したものです。

貸借対照表（バランスシート）		単位：千円	
資産の部	金額	負債の部	金額
1 公共資産	43,123,121	1 固定負債	15,828,891
有形固定資産など		地方債、退職手当引当金など	
2 投資等	6,496,001	2 流動負債	1,345,041
投資および出資金、貸付金など		翌年度償還予定地方債、未払金など	
3 流動資産	3,589,608	負債合計	17,173,932
現金預金、未収金など		純資産の部	
（うち歳計現金）	(1,319,417)	純資産合計	36,034,798
資産合計	53,208,730	負債・純資産合計	53,208,730

市民一人あたりの貸借対照表

資産 115万2千円
（うち、公共資産93万3千円）
負債 37万2千円
純資産 78万円

※平成24年2月1日現在人口にて算出

行政コスト計算書		単位：千円
		金額
	経常費用	13,074,497
1	人にかかるコスト	2,651,519
	人件費、退職手当引当金繰入など	
2	物にかかるコスト	3,588,032
	物件費、維持補修費など	
3	移転支的コスト	6,513,790
	社会保障給付、補助金など	
4	その他のコスト	321,156
	支払利息、回収不能見込計上額など	
	経常収益	287,004
1	使用料・手数料	269,195
2	分担金・負担金・寄附金	17,809
	純経常行政コスト （経常費用－経常収益）	12,787,493

資金収支計算書		単位：千円
		金額
1	経常的収支の部	4,370,704
2	公共資産整備収支の部	△772,382
3	投資・財務的収支の部	△3,098,122
	当年度歳計現金増減額	500,200
	期首歳計現金残高	819,217
	期末歳計現金残高	1,319,417
	（基礎的財政収支）	
	収入総額	16,704,123
	地方債発行額	△2,370,788
	財政調整基金等取崩額	△427
	支出総額	△16,203,923
	地方債元利償還額	1,303,698
	財政調整基金等積立額	518,313
	基礎的財政収支	△49,004

純資産変動計算書		単位：千円
		金額
	期首純資産残高	34,945,485
	純経常行政コスト	△12,787,493
	一般財源	10,676,081
	補助金等受入	3,302,541
	臨時損益	△6,391
	資産評価替えによる変動額	△95,425
	無償受贈資産受入	0
	その他	0
	期末純資産残高	36,034,798